まとめ・発表　～未来年表について～

最後にグループごとにまとめた未来年表について発表をしました。以下では、主な発表内容と、発表に対するグラフィックレコーディング結果について掲載しています。

1班

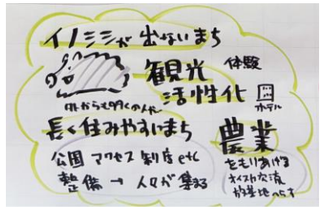
【ステップ 1：地域の魅力発信と課題の把握】
- イノシシの出没箇所を把握し、対策につなげる。また、田植えなどの農業体験や観光資源を活用した交流促進、SNS による地域の魅力発信、農業に関心のある人との交流など、地域活性化に向けた取組を始める。

【ステップ 2：受入環境と暮らしやすさの充実】
- 鳥獣被害対策に関する資格取得の支援や、観光客向けのレンタカー・宿泊施設の充実を図る。また、定住支援制度や子育て支援、交通環境の改善を進め、移住者や観光客を受け入れる基盤を整える。

【ステップ 3：地域の活力と農業の振興】
- 継続的な観光振興や移住・定住促進により、定住者や子どもの増加を目指す。幅広い世代が地域イベントなどに参加・貢献できる環境をつくるとともに、農業体験や関係機関との交流を通じて農業の担い手を確保し、農地の維持・拡大と地域農業の活性化につなげる。

【将来：人が集まり、長く住み続けられるまち】
- 鳥獣被害への不安が少なく、観光・農業が活性化し、子どもから高齢者まで幅広い世代が暮らしやすい、町内外から人が集まり、長く住み続けたいと思えるまちを目指す。





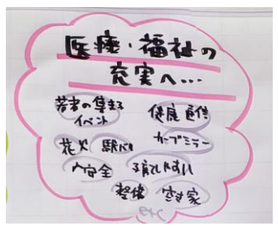
2班

【5 年以内：身近な暮らしの改善】
- 花火大会やエキバルのようなイベントの誘致・PR、公園周辺への店舗誘致、移動スーパーの拡充など、交流や買い物を楽しめる環境を整える。また、カーブミラーや街灯の設置、バス停の環境改善、駐車場の確保、高齢者の健康づくりなど、日常生活の利便性と安全性を高める。

【10 年後：地域の魅力と活力の向上】
- 公園や屋外遊び場、カフェ・休憩施設の充実、歩道や橋の整備、農地整備、空き家の把握・活用、通信環境の改善などを進める。特色ある農産物を生かした地域づくりや、綾川町で働く人、移住者、農業法人の増加につなげ、地域の魅力と活力を高める。

【将来：誰もが安心して住み続けられるまち（医療福祉の充実）】
- 交通の利便性が高く、犯罪が少なく、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちを実現する。妊娠・出産・子育てへの支援や病児保育が充実し、誰もが健康で、安心して住み続けたいと思えるまちを目指す。





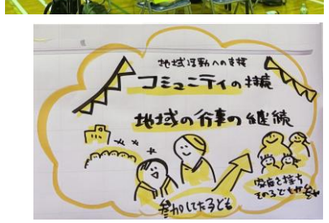
3班

【今できること：地域活動への参加のきっかけづくり】
- 小学生へのアンケートなどを通じて地域活動に関心のある子どもを把握するとともに、中学校に地域活動部を設ける。また、公民館運営協議会などに若い世代が参加できる仕組みをつくり、子どもたちの意見を夏祭りや文化祭などの地域活動に反映する。

【3～4 年後：子どもが地域で活躍できる環境づくり】
- 地域活動部の子どもたちがイベントで出店したり、自ら地域イベントを企画・運営したりする機会を増やす。また、中学校での文化祭の開催や、地域活動に対する補助制度の充実などを通じて、子どもたちが主体的に地域と関わり、活動を継続できる環境を整える。

【将来：地域への愛着とつながりの継承】
- 子どもの頃から地域活動を経験することで、地域への愛着や人とのつながりを育み、成長してからも綾川町に関わり続ける人を増やす。将来的には、地域で育った子どもたちが綾川町で家庭を持ち、暮らし続けたいと思える、地域コミュニティが持続するまちを目指す。





令和8年 10 月
No.02

総務課いいまち推進室
Tel:087-876-5577
Fax:087-876-1948

～ 第３次 綾川町総合振興計画検討 ～

あやがわ若者未来デザイン会議 ニュース









若者を中心に対話を行う あやがわ若者未来デザイン会議を実施しました！

綾川町では、平成 29 年 3 月に地域のめざすべき将来像等を示した「綾川町第 2 次総合振興計画」を策定し、これまで町民の皆様とともにまちづくりを進めてきました。

次なる 10 年を見据え、新たな「第 3 次総合振興計画」を策定するにあたり、これからを生きる若者の知恵や多様な価値観を計画に反映するため、10 代～40 代を対象とした「あやがわ若者未来デザイン会議」の第 1 回を 9 月 5 日に開催しました。

会議では、「未来のまちを想像しよう！～未来ストーリー（未来年表）をつくろう～」をテーマに、綾川町の誇れる（良い）ところや気になるところについて対話した上で、理想のまちの姿について対話を行い、その実現に向けたステップや取組などを検討し、未来年表としてとりまとめました。

あやがわ若者未来デザイン会議の概要

第１回 ９月５日 実施
「未来のまちを想像しよう！」
～未来ストーリー（未来年表）をつくろう～
未来の出来事やまちの変化をイメージしながら、理想のストーリー・年表を検討

第２回 ９月 12 日 実施
「未来に向けて“みんな”でできること」
一人ひとりが地域でできるアクションを考え、まず取り組めることを考える

→ 総合振興計画の検討に反映

～当日のプログラム～

1. 開　会
2. 総合振興計画の事業について
3. ワークショップ
   （1）今の綾川町を考える
      ・「今の綾川町の好き・大切にしたいところ」
      ・「まちがもっとこうなったらいいな」
   （2）まちの現状を知る
      ・「町民・中学生アンケートを踏まえて」
      ・「将来像の方向性と今後の動き」
   （3）未来の綾川町を考える
      ・「未来の綾川町はどうなっていたら良いか」
      ・「そのために必要なことは何か」
      ・「未来年表をつくろう」
   （4）まとめ・発表
4. 閉会

「未来のまちを想像しよう　～未来ストーリー（未来年表）をつくろう～」をテーマに検討！

自己紹介と現在の綾川町に対する対話

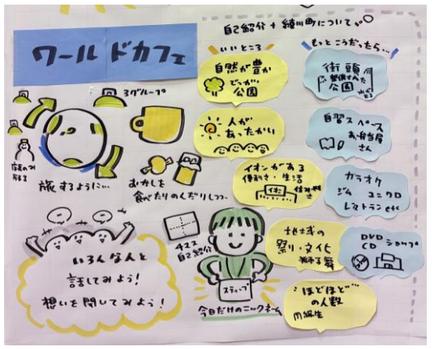
・ワークショップでは、ワールドカフェの手法を用いて、席移動しながら、参加者同士で自己紹介を行いました。
・そのあと、「今の綾川町の好き・大切にしたいところ」、「まちがもっとこうなったらいいな」をテーマに対話を行いました。



自己紹介フリップで説明



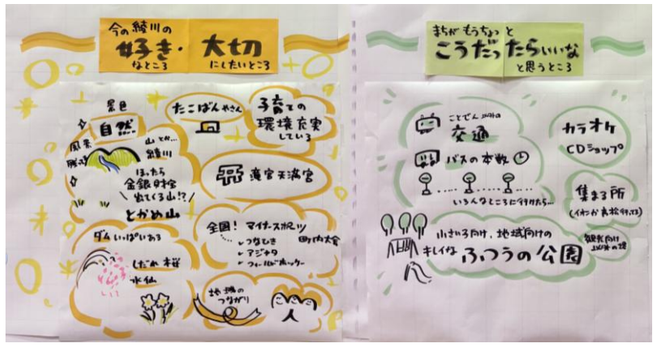
席を移動しながら色んな人と対話





大切にしたいこと、こうだったらいいなを対話





＼当日のゲスト／
USANET 合同会社　代表 さの はるかさん
（ファシリテーショングラフィックレコーダー）
〇さのさんは、“見えない想いをカタチにし、未来の幸福を作り出す”を理念に徳島県で活躍されているグラフィックレコーダー※。



※グラフィックレコーディング：ワークショップの内容をリアルタイムで視覚的に記録すること。

未来年表（理想のまちの姿とその実現に向けて必要な取組）の検討

・町民や中学生アンケート結果、100 人委員会での参加者の意見を情報提供したのち、それらを踏まえて、将来実現してほしい「理想のまちの姿」について対話を行いました。
・そのあと、その姿を実現するために必要な取組をステップごとに整理し、未来年表として、とりまとめました。



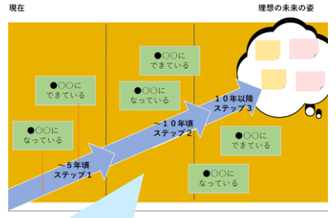
テーマ1
未来のまちの姿を検討



まず、理想のまちの姿を検討



≪テーマ2≫
その姿に近づいていくまでにどんな変化、どんな状態か？



理想のまちの姿に対して、5 年後、10 年後、それ以降でそれぞれどのような状態かを検討

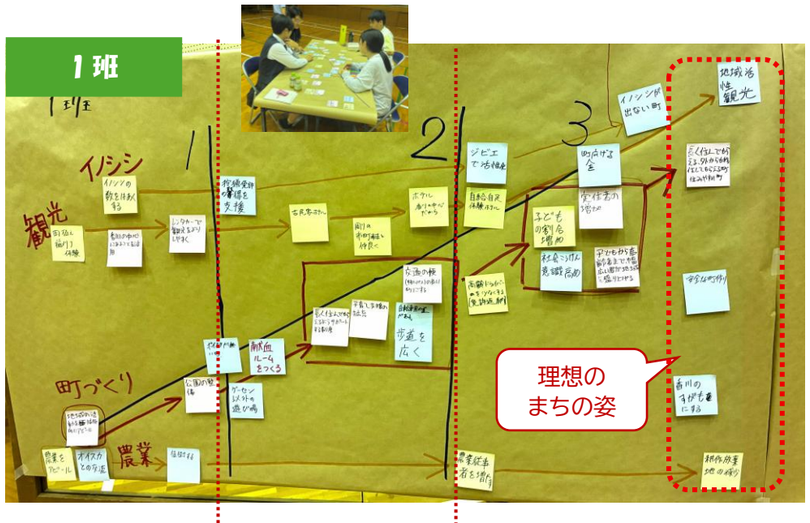


≪テーマ3≫
その実現にむけてどんな取り組みが必要か？



テーマ1、2をふまえて、それらの実現に向けてどんな取り組みが必要かを検討

1 班



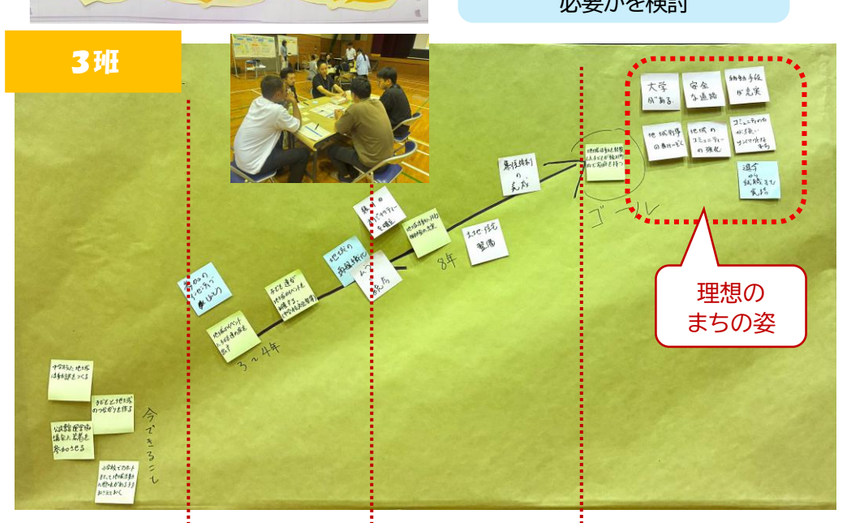
ステップ1（5 年）　ステップ2（10 年）　ステップ3（それ以降）

2 班



ステップ1（～5 年頃）　ステップ2（～10 年頃）　ステップ3（10 年以降）

3 班



今できること　ステップ1（3～4 年）　ステップ2（8 年）　ステップ3（それ以降）